

<<今月号の主な内容>>

<工事の進捗状況>

- 防波壁設置工事:防波壁嵩上げ工事(津波対策)・5号機周辺の防波壁地盤改良工事を進めています。(地震対策)
- 建屋ベント設備設置工事:3・4号機建屋ベント設備の吸排気パネル部分の工事を進めています。(水素爆発防止対策)
- 高台工事:海拔30mのポンプ室内の機器設置工事を進めています。(水源の多様化)

<訓練等のソフト対策>

- 非常災害対策実動訓練(配電設備復旧訓練)を実施しました。

<その他>

- 静岡県および御前崎市による津波対策工事の点検および確認を受けました。

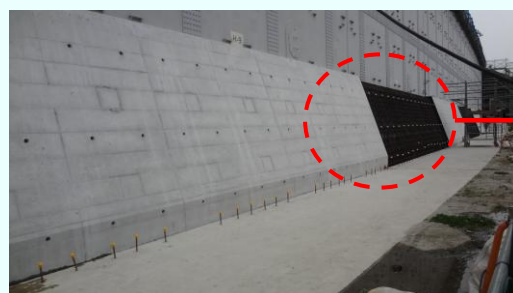
<<工事の進捗状況>>

■防波壁設置工事・東西改良盛土工事

- ◆防波壁の嵩上げ工事・下部補強工事を進めています。
- ◆5号機周辺の防波壁地盤改良工事を進めています。



●防波壁嵩上げ部据付後の様子
<嵩上げ部据付の進捗>
132箇所/218箇所
(6/1現在)



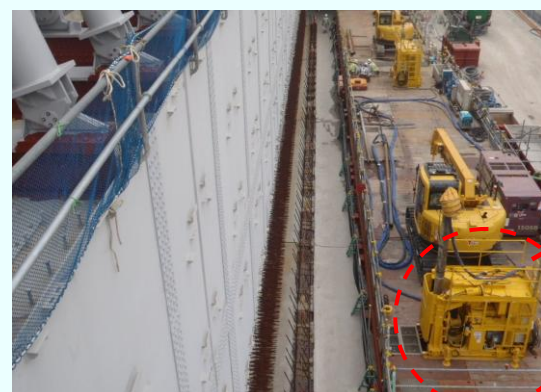
●防波壁下部補強工事箇所の様子



●防波壁下部補強工事作業の様子



●防波壁西側端部嵩上げ工事の様子



●5号機周辺の防波壁地盤改良工事の様子



●地盤改良工事に用いる
高圧噴射攪拌機



●防波壁西側端部工事現場を海側
から見た様子

■フィルタベント設備設置工事

- ・4号機フィルタベント室本体工事および配管トンネルの工事を進めています。
- ・3号機フィルタベント室の本体工事を進めています。



4号機フィルタベント室
本体工事の様子



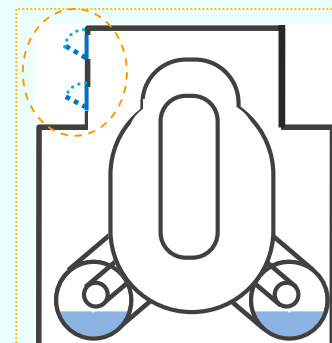
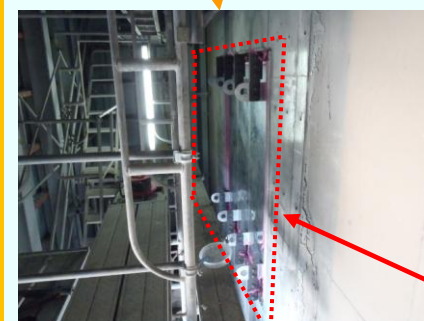
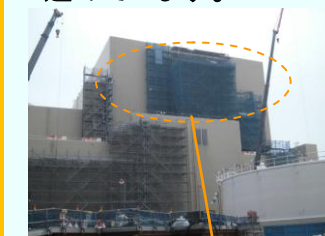
配管トンネル工事
の様子



3号機
フィルタベント室
本体工事の様子

■建屋ベント設備設置工事

- ・3, 4号機原子炉建屋の建屋ベント設備設置工事を進めており、3号機では、原子炉建屋壁部の吸排気パネル部分の工事を進めています。



建屋ベント吸排気パネルの
イメージ

- 3号機原子炉建屋のベント設備
設置工事
・ウォータージェットによる壁部の
研り工事が終了し、現在パネル
が設置されています。

■高台工事(海拔 40m:ガスタービン発電機建屋等)

- ◆電源盤を設置する建屋のケーブル布設工事等を進めています。
- ◆ガスタービン発電機建屋の耐震性強化(建物の揺れを減衰させるオイルダンパーを設置)のための準備工事(建屋周辺掘削工事)を進めています。
- ◆ガスタービン発電機の地下燃料タンク現場では、燃料移送配管工事を進めています。



5 月 30 日撮影



●燃料タンク現場



●ガスタービン発電機建屋
周辺掘削工事現場



●ポンプ室現場



●ポンプ室内作業の様子

■高台工事(海拔 30m:地下水槽設置工事)

- ◆地下水槽および送水トンネル工事を進めています。
- ◆ポンプ室の土木関係の工事が終了し、現在、機器の設置工事を進めています。



5 月 30 日撮影

<<訓練等のソフト対策>>

■配電設備にかかる非常災害対策実動訓練を実施(5月21日)

- ◆東海エリアを中心とした巨大地震が発生し、地震および津波により、掛川営業所管内の配電設備が大きな被害を受けたという想定で非常災害対策実動訓練を実施しました。
- ◆浜岡原子力発電所では、送電線から送られる外部電源が喪失し、所内に設置している非常用ディーゼル発電機なども機能を喪失したと想定し、発電所周辺および発電所構内の配電線を利用した電源の復旧訓練を実施しました。
- ◆訓練では、浜岡原子力館に復旧対応の拠点となる「前進基地」を設営し、配電線被害状況の確認や、復旧方法の検討および復旧工事の訓練を実施しました。
- ◆発電所構内の訓練としては、5号機の電源復旧をおこなうため、配電線の一部を追加設置し、5号機の電源設備まで配線の延線訓練を実施しました。
- ◆今後も訓練を行うことで、災害発生時に速やかに対応できる体制を検証し、災害対応力の強化に努めていきます。



- 浜岡原子力館に前進基地を設置。被害状況の把握・復旧工事の手配等の訓練を実施



- 復旧工事の実施。浜岡原子力発電所の所内電源へ配電線を接続する工事を実施。



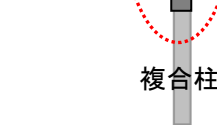
バケット車を使用して複合柱(パンザマスト)の建設



柱上開閉器の取付け



建設した電柱から5号機の電源設備まで配線の延線訓練を実施



複合柱



5号機電源設備

<復旧工事訓練のイメージ>

<<その他>>

■静岡県および御前崎市による津波対策工事の点検および確認について

- ◆5月23日、当社が実施している津波対策工事について、御前崎市の立ち会いの下、静岡県による点検を受けました。
- ◆当日は、防波壁嵩上げ工事のうち、一般部の壁部(継壁)およびたて壁の下部補強部について点検を受けました。
- ◆静岡県から、「基準を満足しており、問題ありませんでした。今後は点検箇所が増えてくるので、合理的に点検できるようにしていただきたい。これからも安全に工事を進めていただきたい。」との講評をいただきました。
- ◆御前崎市から、「これから雨の多くなる時期であり、引き続き安全には十分注意して、工事を進めていただきたい。」との講評をいただきました。



一般部壁部(継壁)点検の様子

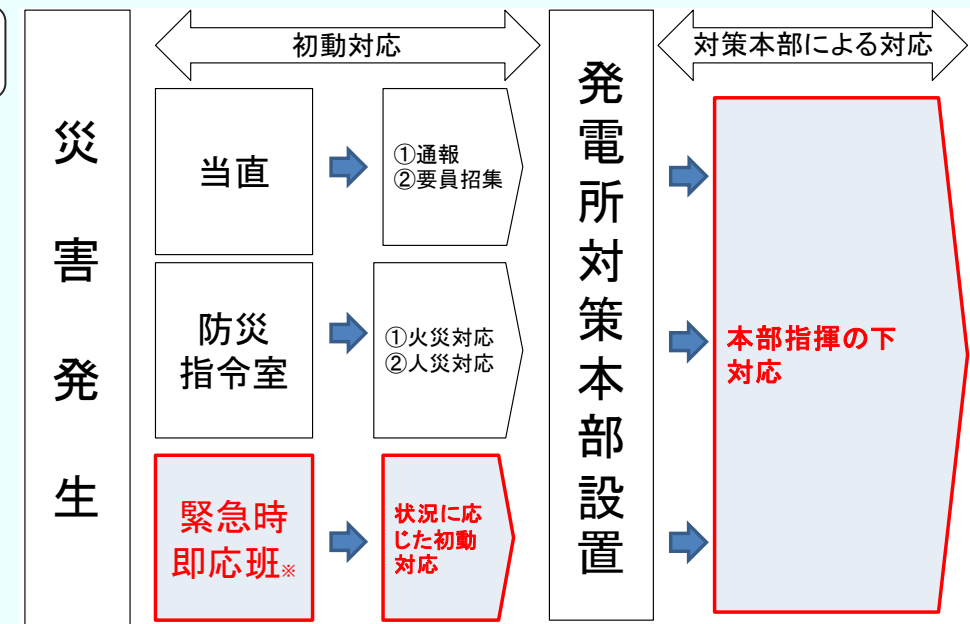


一般部たて壁下部補強部点検の様子

<<浜岡原子力発電所の初動対応体制の強化>>

- ◆浜岡原子力発電所では、福島第一原子力発電所の事故の教訓から、事故収束には現場の初動対応が重要であると考え、体制面での強化を図ることとしました。
- ◆具体的には、事故時の初動対応を専門的に行う、「緊急時即応班」を設置し、平常時から訓練を積んだ従業員を24時間365日発電所に常駐させ、必要な初動体制を迅速かつ的確に実施します。
- ◆現在実施している4号機の安全性向上対策と並行して設置の準備を進めていくこととし、平成26年7月から立ち上げ準備を開始いたします。

体制のイメージ



※: 事故発生後、発電所対策本部が設置されるまでの間、当直長の指揮命令のもと、初動体制の任務にあたる

<<新規制基準への適合性申請の国による審査状況について>>

■5月は審査会合は開催されませんでした。

- ・面談については、5月に2回実施されました。
- ・内容は、原子炉格納容器圧力逃がし装置(格納容器フィルタベント系)に関するものです。

詳細は原子力規制委員会HPを参照ください

<http://www.nsr.go.jp/activity/regulation/tekigousei/power_plants.html>

◆浜岡原子力発電所従事者数

(津波対策工事従事者以外を含む): 5月1日現在 3,599 名

[うち、御前崎市・牧之原市・掛川市・菊川市在住: 2,360 名(66%)]

<参考>

定期検査のない期間の平均従事者数: 2,600 名程度
(3・4・5号全号機運転期間中)

